

やまきあやこ

事務所 350-1137
川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階

TEL・FAX 049-249-3306

e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com

URL <http://www.yamaki-ayako.com>

自宅 350-1137

川越市砂新田5-27-9

TEL・FAX 049-242-3543



川越市議会議員

川越市の新型コロナ対策

5月臨時議会 = 国の第1次補正予算 = 補正予算規模 6億9,305万7千円

国の第1次補正予算の成立を受けて、特別定額給付金・持続化給付金・地方創生臨時交付金を議決しました。

- 川越市中小企業者事業者継続緊急支援金
前年同月比の売り上げが、15%~50%未滿減少した市内中小企業事業者に対して、1業者当たり10万円の支援金を給付。**申請件数 5,450社見込 5.5億円**
- 子育て世帯=子ども1人1万円を給付
児童扶養手当受給者世帯・就学援助認定の児童生徒=**約5,479万円**
- PCR検査試薬等の追加購入=**6,210万円**
- 入院医療費公費負担=**約1,148万円**

6月議会

- 小規模事への資金繰り支援拡充=**約5千万円**
- マスク・アルコール・非接触型体温計等の衛生用品購入支援=**約1億4千万円**
- 国の「GIGAスクール構想」を推進するICT教育実現のため、児童生徒1人1台のコンピューターを整備し、緊急時の家庭学習のモバイルルーター3千台導入=**約8億4千万円**
- 2019年度の東日本台風で被害を受けた社会福祉施設の事業者へ復旧費用の助成金=**約199億円**

= 国の第2次補正予算 =

- コロナウィルス流行下における妊産婦支援=**約4,300万円**
 - 希望する妊婦への分娩前PCR検査
 - 退院した妊婦が退院後、助産師等が定期的に自宅等への訪問
- ひとり親世帯臨時特別給付金
基本給付=**1世帯5万円 第2子以降一人当たり3万円を支給 約3億円**
追加給付=対象者の内コロナの影響で収入が大きく減少した世帯に対して=**5万円支給**

7月臨時議会 = 17億9,720万千円 =

- プレミアム付き商品券=**約5億円**
1万円で1万3千円の商品券を1世帯3セットまで購入可能(10月1日発行)
- 赤ちゃん応急手当=**約9,100万円**
令和2年度中に生まれた子が対象一人当たり3万円を給付
- 認可外保育園利用者への保育料補助=**約828万円**
- 電気自動車15台購入 急速充電器を1基設置=**約7,250万円**
パーティション850個を購入
約2,190万円
- 児童生徒の情報機器端末(タブレット)を整備=**約4億6,822万円**
- 大型電磁黒板の導入=**約4,936万円**
(小学校93台 中学校77台)

令和元年度決算

九月議会は決算議会とされています。令和元年度の決算は

《歳入》

1,125億2,275万5千円

《歳出》

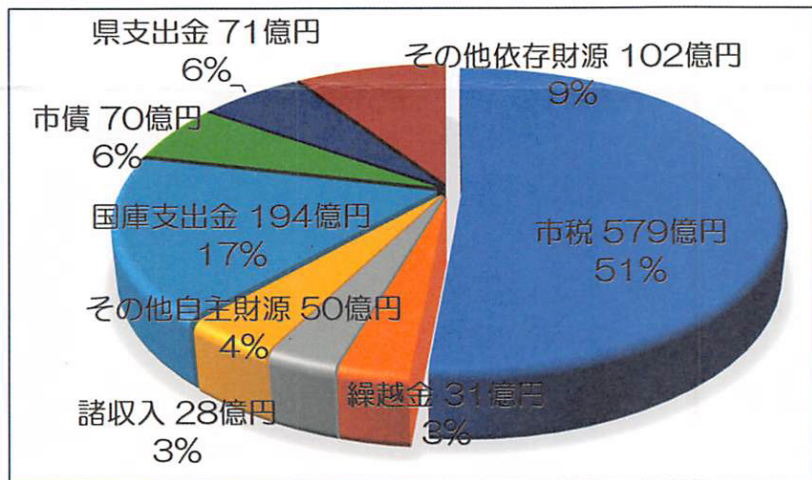
1,091億0,506万4千円

歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実収支は、32億4,214万4千円になりました。

※対前年度比は歳入では約2億3千万。歳出では約、5億8千万減少しました。

※歳入は、投資的経費の減に伴う市債等の減少により、歳入全体として対前年度比0.2%減少しました。

《歳入》



※市税収入が全体の51%を占めるとともに、自主財源の比率は、引き続き60%台で推移しています。

(自主財源＝市税51%・繰越金3%・諸収入3%・その他自主財源4%)

(依存財源＝国庫支出金17%・市債6%・県支出金6%・その他支出金9%)

※市民税・固定資産税等の増収により、市税収入全体は、対前年度比で、訳7億円の増収となりました。

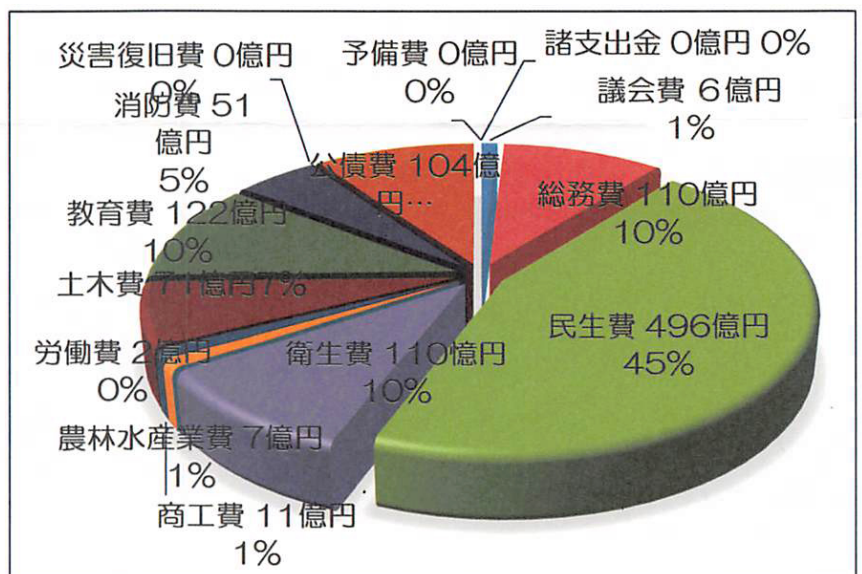
※歳出は、扶助費が増加したものの、投資的経費が減少した結果、歳出全体として対前年比で0.5%減少しました。

※全体の4割以上を占める民生費は対前年度比で約8億円の増加となりました。

※教育費は対前年度比で約15億円の減となりました。

※全体の1/4以上を占める扶助費は、対前年度比で約23億円の増加となりました。

《歳入 (目的別)》



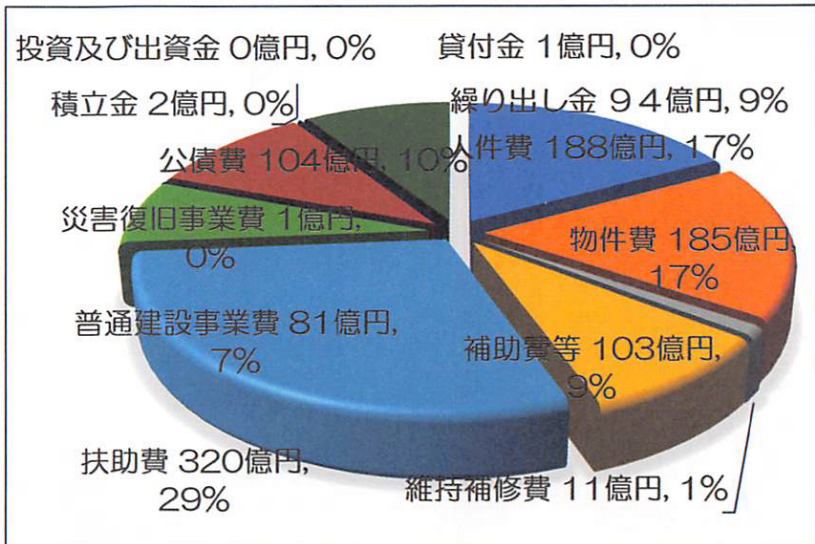
※令和元年度決算のポイント参照

※普通建設事業費は対前年度比で約 25 億円の減少となりました。

(小・中学校普通教室空調設備等が終了したため 減少しました)

※市債残高は前年度より約 28 億円減少して、1,005 億円になりました。

《 歳 入 (性質別) 》



主な事業の成果

『都市基盤・生活基盤 ・知己社会・市民生活』

- ・南古谷保育園新園舎整備 決算額 3億 5,451万3千円
- ・民間保育所整備 決算額 9億 6,034万5千円
- ・風疹抗体検査・予防施主関連 決算額 4千398万6千円

『教育・文化・スポーツ・環境』

- ・タブレット端末導入及び校内 LAN 敷設 決算額 2億0,218万1千円
- ・小江戸川越ハーフマラソン 決算額 400万円
- ・東清掃センター大規模改修 決算額 7,326万円

『子ども・子育て、福祉・保健・医療』

- ・防災行政無線デジタル化整備 決算額 4億375万4千円
- ・デマンド型交通事業 決算額 2,364万2千円
- ・歩道美装化工事(脇田町) 決算額 4,562万1千円
- ・プレミアム付商品券事業 決算額 2億 6,923万1千円

『産業・観光』

- ・高沢橋トイレ改修 決算額 1,027万6千円
- ・鴨田ふれあい農園整備工事 決算額 5,994万5千円

『その他』

- ・災害救助法関連 決算額 5,477万3千円
- ・市制施行100周年記念事業準備 決算額 3,408万3千円
- ・公開用監視カメラ設置 決算額 354万6千円



【デマンド交通】

『ふるさと納税』

令和元年度は 1,002 件で、3,722 万 8 千円の寄付がありました。

ふるさと納税からの基金

- ・みんなで支える観光基金 107件 2,805千円
- ・文化芸術スポーツ基金 36件 925千円
- ・大学奨学基金 64件 1,149万5千円

コロナ禍での対応

議場内もコロナ対策

6月議会からは、議場内での議席の間にはアクリル板のガードを置き、議長席・発言席には前面にアクリルボードを配置しました。



また、定数 36 の議席は 24 名とし、会議室と委員会室にそれぞれ 6 名ずつ配し、議決に参加するときは、



36 名全員で議場内に参加しました。もちろん、理事者側もソーシャルデスタンスを取りながら、議事を進めました。



商工会議所との意見交換

新型コロナウイルスの発生以来川越市の経済にも大きな影響がありました。

川越市商工会議所の皆さんから、地域経済の現状について、お話を伺いました。

当日は、立原会頭をはじめ、専務理事・各部会の部会長等の参加をいただきました。

理事者側からは、両副市长・財政部長、議会から

正副議長はじめ、各会派の代表が参加しました。



「水災害と逃げ遅れゼロ施策」講演会

2020年7月18日(土) 14時~17時 @ 高階市民センター

埼玉県、川越市、ふじみ野市では、平成29年、令和元年の台風により、深刻な浸水被害が繰り返されました。令和2年の洪水期を迎えるにあたり、埼玉大学の田中則夫教授をお招きし、ご講演を頂き、これからの水害に対する備えの在り方等につきみなさんと意見交換を行いたいと思います。

- 講演会：田中則夫教授、埼玉大学大学院理工学研究科 川越市台區第21号内水浸水検証委員会(100)委員長
- パネルディスカッション(司会：木村博隆准教授、長岡技術科学大学・日本災害復興学会) 話題提供：「今年の豪雨に備えよう〜2021年度豪雨中のなかで〜」等 江川水害対策会議、永井 彰(被災者代表)、谷岡 康(河川工学博士、地区防災計画学会)

参加費無料 定員50名 開場 13時~ ※混雑緩和のため入場時刻を区分指定します

講演会		パネルディスカッション	
申込人数	定員	申込人数	定員
14名	50名	14名	50名
28%		28%	
申込人数	定員	申込人数	定員
14名	50名	14名	50名
28%		28%	

川越川浸水被害の様子

主催：江川水害対策会議・川越政策フォーラム
共催：申込のみ NPO法人 防災・災害ボランティアネットワーク
申し込み： <https://www.npo-kawasemi.org/> 問い合わせページから 7/12まで

首都圏外郭放水路

国土交通省 江戸川・荒川事務所

災害対策支援会議で見学しました

「水害と逃げ遅れゼロ施策」講演

埼玉大学の田中則夫教授をお招きして、逃げ遅れゼロのためにマイタイム・地域タイムラインの必要性の話や避難の種類についてお話し頂きました。また、パネルディスカッションでは、「今年の豪雨に備えよう」と熱のこもった話し合いがなされました。



議会費の見直し

視察費の見直しと政務活動費の減額で、1,535 万円を組み替え、避難所での、新方コロナウイルス感染リスクを低減するためのパーティションと段ボールベットの購入に充てました。